



◆ 令和元年度 千代川タイムライン (TL) 検討会の概要

No.	検討会	開催日	概要	成果	
1	研修会	令和元年 7/31 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 水防災基礎学習…千代川概要説明 (主な洪水被害、整備状況、洪水浸水想定区域図、平成30年7月豪雨の概要) ◆ タイムライン作成に向けて (先行事例の紹介、千代川TLのポイント、TL作成手順) ◆ グループワーキング【目的】 TL作成に当たって自機関の行動項目や課題を理解・共有 <ul style="list-style-type: none"> 自己紹介 本研修での気づき (自機関の水害発生時の主な行動項目と懸念事項) を発表 グループ内で取組課題をまとめ グループで取組課題を発表→全体で共有  	<p>◆ 研修会グループワーキング成果 (グループごと)</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>① 防災情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ①水害発生時におけるミッション <ul style="list-style-type: none"> 情報の収集・提供・発信 ホットラインの確実な実施 各関係機関の連携 ②自機関に係る水害リスク <ul style="list-style-type: none"> 職員研修の可否 施設の使用とそこで業務が執行できるか インフラ施設の把握 ③タイムラインに期待すること <ul style="list-style-type: none"> 求められている情報を発信すること 確実な連携と協力 応用のきくシナリオ (タイムライン) の作成 ④水害時の防災行動に対する懸念事項 <ul style="list-style-type: none"> 情報の過多で何が重要か分からない 正常性バイアスの払拭 タイムラインを即時に実行しているかの確認 (確認事項) </div> <div style="width: 50%;"> <p>② 報道・避難対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ①水害発生時におけるミッション <ul style="list-style-type: none"> 情報収集 迅速な発信 関係機関との連携 ②自機関に係る水害リスク <ul style="list-style-type: none"> 避難所の確保 避難経路の確保 避難物資の確保 避難物資の搬入・搬出 避難物資の搬入・搬出 ③タイムラインに期待すること <ul style="list-style-type: none"> 求められている情報を発信すること 確実な連携と協力 応用のきくシナリオ (タイムライン) の作成 ④水害時の防災行動に対する懸念事項 <ul style="list-style-type: none"> 情報の過多で何が重要か分からない 正常性バイアスの払拭 タイムラインを即時に実行しているかの確認 (確認事項) </div> </div>	
2	発足式	令和元年 8/7 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 首長挨拶 (鳥取市長、倉吉市長、三朝町長、湯梨浜町長、北栄町長) ◆ 千代川水害タイムライン検討会・天神川水害タイムライン検討会設置要綱 (案) について ◆ 検討会座長講演 ◆ 千代川・天神川の概要について 		
3	第1回検討会	令和元年 9/20 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 想定最大シナリオの把握 <気象情報について> <ol style="list-style-type: none"> TL作成で想定する台風シナリオ 危険度に応じて発表される段階的な防災気象情報 TL作成で想定する台風経路と台風情報 <浸水状況について> <ol style="list-style-type: none"> 想定最大規模洪水の概要 各観測所水位の変動状況 千代川水害TLにおけるTLレベル設定の考え方 氾濫特性の把握 水害リスクの把握 最大浸水区域における施設浸水状況 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ グループワーキング <Step 1> 浸水リスクの把握と行動項目の選定・追加 <Step 2> グループで水害発生時の重点行動項目の抽出と整理 <Step 3> ワーキング成果発表  	<p>◆ 機関ごとのTLレベルに応じた行動項目の整理</p>  <p>← 第1回検討会の成果例 : TLレベルに応じた行動項目を横軸 (自機関・他機関)、縦軸 (重要度・影響度) に沿って付箋で整理。</p>
4	第2回検討会	令和元年 11/27 (水)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 研修会・第1回検討会の振り返り ① これまでのワーキング成果、及び総括 (鳥取大学大学院三輪教授) の振り返り。 ② TL完成までの流れを第1回検討会～本検討会～今後の検討会の内容に沿って確認。 ③ 平成10年台風10号の進行経路と千代川流域の降雨特性について説明。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ グループワーキング <Step 1> 重点行動項目の具体化・細分化 <Step 2> グループ内発表・意見交換 <Step 3> 全体発表   <p style="text-align: center;">千代川水害タイムライン (素案)</p>	<p>◆ 重点行動項目の具体化・細分化、及び課題の整理</p>  <p>← 第2回検討会の成果例 : 特に他機関との係わりが強い重点行動項目を選択し、具体化・細分化を実施。行動項目を実施する際の課題については、関係する機関の確認を行った。</p>
5	第3回検討会	令和2年 1/24 (金)	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 千代川水害タイムライン (素案) について ① TLの立ち上げ・レベル移行・解除…台風情報、早期注意情報、気象予警報、河川水位状況を総合的に判断して移行。 ② TLの構成…詳細版、概要版、運用方法の3つから構成。 ③ TL (素案) について…記号分類、階層分類を採用し、各機関の役割分担や情報の受発信を分かり易く表現。 <p style="text-align: center;">各機関への意見照会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ グループワーキング <Step 1> TL (素案) の確認 <Step 2> 各機関との連携・調整事項の確認 <Step 3> 全体発表 (意見交換)   <p style="text-align: center;">千代川水害タイムライン (案)</p>	<p>◆ 千代川TL (案) の完成</p> <p>第3回検討会の成果例→ : 「課題・調整シート」を使用し、第2回検討会で挙げられた課題を確認、不足分を追記。その後グループ内で、特に調整・解決すべきと考えられる課題を3つ選び、対象機関と意見交換を行った。</p>  
6	第4回検討会	令和2年 2/26 (水)	<p style="text-align: center;">検討準備</p> <p>➢ 第3回検討会成果 (各連携機関との課題調整)、及び各機関への意見照会を踏まえ、千代川水害タイムライン (案) を作成する。</p>	<p>◆ タイムライン (案) 机上演習による行動項目の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 行動項目を主体的に行う機関・支援を行う機関、及び情報の受発信を行う機関を再確認する。またタイムライン (案) において、自機関で行う項目の最終確認を行う。 ◆ タイムラインの特徴の1つである「顔の見える関係」を実践し、一体感を高め、共通理解を確認する。 	<p>◆ 千代川TL (案) を用いた机上演習</p> <p>第4回検討会のイメージ→ : TLの読み合わせを通し、TLの特徴の1つである「顔の見える関係」を実践し、一体感を高め、共通理解を確認。(他地域における全体読み合わせのイメージ)</p> 
7	完成式	令和2年 3/30 (月)	<p>➢ 千代川水害タイムラインの運用を開始する。</p>		